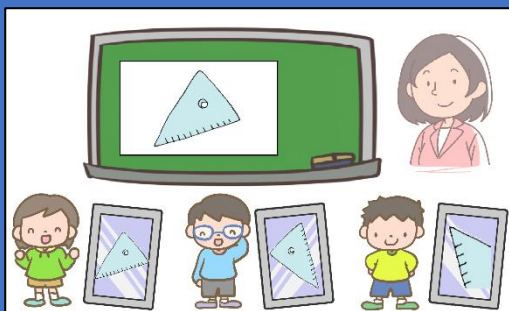


1人1台のタブレット型パソコンを活用した「新たな学び」

令和3年4月より、1人1台のタブレット型パソコンを導入することで、「新たな学び」が可能になります。例えば授業の中で、それぞれの子どもがタブレット型パソコンから自分の考えを送信し、一覧に表示する「一斉授業」、複数の意見・考えをタブレット型パソコンで整理して議論するような「協働学習」、1人1人の習熟の程度等に応じた課題に取り組むことができるアプリケーションを使った「個別学習」などの学習活動が可能です。

- ・音声や動画などの教材を利用する
- ・資料を手元で操作して見る

- ・クラスで考えを発表したり、まとめたりする
- ・学校内外の人とつなげて学習する



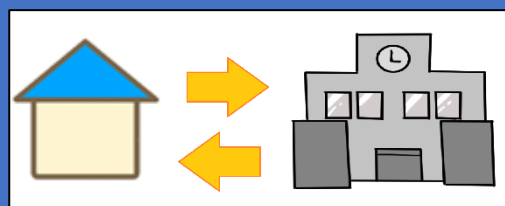
協働学習



基盤となる教育クラウドの活用



家庭と連携

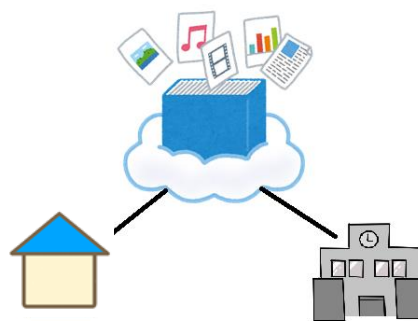


- ・苦手分野を重点的に復習する
- ・インターネット環境を生かして探究的に学ぶ

- ・家で動画教材を視聴する
- ・作品を製作して提出する
- ・デジタル教材、ドリルを活用する

基盤となる「教育クラウド」について

これまで、パソコンにインストールされたソフトウェアを使ったり、データをパソコンやサーバーに保存したりしていました。今回の学習者用コンピュータの導入は、パブリッククラウド（「教育クラウド」）の利用を前提に進めています。「教育クラウド」によって、データの保存場所がインターネット上となり、学校からでも家庭からでもアクセスが可能となります。これにより、「授業で興味をもったことを家庭学習で深めるために、授業のプリントやデータを家で見返す」、「次の日の授業で用いる素材を集めるために、家で写真を撮影する」といったことが可能になります。



市で導入するタブレット型パソコンについて



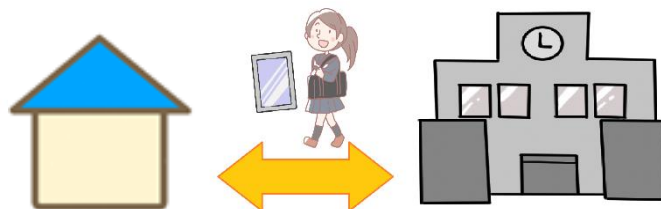
Acer Chromebook Spin 511

Google Chrome OS

G Suite for Education

子どもたち1人1人が使う学習者用コンピュータとして導入する機種は「Acer Chromebook Spin 511」、OSは「Google Chrome OS」です。Google drive, Google Classroom, Google Meet 等といったツールの教育機関向けパッケージ「G Suite for Education」を使用します。なお、特別支援学級には iPad を導入します。

小学校3年生以上は、タブレット型パソコンを自宅に持ち帰り、家庭学習で活用することを想定しています。小学校1年生と2年生は、ノートや筆箱の取扱い方に慣れたり、鉛筆を使ってノートやプリントに書く練習をした



りすることが家庭学習でも大事になるので、タブレット型パソコンは持ち帰らずに学校の充電保管庫に保管して活用します。ただし、臨時休業となった場合などの緊急時には、家庭に持ち帰って活用することを検討しています。